

HGG001-P03

会場:コンベンションホール

時間:5月26日 14:00-16:30

## イラワジ川中下流の河川環境変動

## Environmental change of the middle and lower reaches of the Ayayawady river

春山 成子<sup>1\*</sup>, 松本真弓<sup>1</sup>

Shigeko Haruyama<sup>1\*</sup>, Mayumi Matsumoto<sup>1</sup>

<sup>1</sup> 三重大学大学院

<sup>1</sup> Mie University

中部ミャンマーのイラワジ川の本川河道における蛇行プロセスを外邦図を用いて、マンダレーから河口部まで、1940年代での状況を復元した。また、比較対象の時代を60年後のと2000年として、ETM画像を用いて、同様の箇所を用いて蛇行特性を復元した。これら二つの蛇行についての変動を屈曲度を指標にして求めた。さらに、衛星画像を用いて地形分類図を作成し、地形単位ごとの屈曲度インデックスを比較してみたところ、本川の河道を11のセグメントに分けることができた。この研究では外邦図と2000年撮影の衛星画像を用いて約60年間の期間でイラワジ川のマンダレー盆地からイラワジデルタ先端部までの河川蛇行度の変動を計測してみた。その結果、河口部と盆地での変化率は低いものの、狭窄部において変化率が高くことわかった。2000年代では屈曲度が下がり直線化に向かっていることが明確になった。また、河川屈曲は地形とよい相関が表れた。

キーワード: イラワジ川, 蛇行, 環境変動

Keywords: Ayayawady river, meandering, environmental change